

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 佐藤正道
ガバナー補佐 網代智明
会長 石川邦俊
幹事 紺野容樹

情熱 行動
感動 共有
地区重点目標
1. DEI を取り入れた会員増強拡大
2. よりインパクトのある奉仕事業の実践
3. 活動の情報発信
4. ネットワークの構築
5. ポリオ撲滅

2022 - 2023 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
RI会長 ジェニファー・E・ジョーンズ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
ウインガー・ローズランドRC (カナダ・オンタリオ州)

通算

9月は基本的教育と識字率向上月間【ロータリーの友月間】

第7回 [3079] 例会報告 令和4年(2022)9月8日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	23名
欠席会員	16名
出席率	58.97%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 生田目正志 副会長

◆ロータリーソング [我等の生業] 服部裕一 ソングリーダー

◆四つのテスト 渡辺達也 職業奉仕委員長

◆お客様紹介 安達のり子様 東京四谷RC 親睦活動委員長

🎵 今週の誕生日 🎵 9月13日 佐藤真也 会員 🎵

.....lunch time.....

◆副会長の時間 生田目正志 副会長



石川会長が所用により欠席ということで、会長の時間という場合は初めての経験で、とても緊張しておりますが、私事の話をしてみたいと思っております。9月3日に東都大学野球1部リーグが福島の吾妻球場で開催されました。突然、恩師より電話があり、チケットを準備するからと誘いを受けまして、家族で観戦してまいりました。恩師の先生は駒大出身で、福島県のOB会の会長をしており、行ったら駒大応援グッズが準備してあって、先生は柔道部だったのですが、OB会ということで、かなり大変そうに動いておりました。東都大学と言われるとピンとこなかったのですが、東京六大学野球は慶応・早稲田・法政・立教・明治・東京ですが、東都大学はその六大学を除いた、22校の大学の集まりの4部制の公式リーグだそうです。それで全部勝ち上がって、全国の大学選手権での大会となるわけですが、六大学の優勝チームが大学選手権を4回制したのに対して、東都大学は12回も優勝しているそうです。それ所以で「人気の六大学リーグ」「実力の東都大学リーグ」と呼ばれております。開会式も室井さんの航空エアショーや各大学の応援団、チアリーダーのパフォーマンスがあって大変華やかな開幕式でした。毎年20試合程度のリーグ戦を行って、3部ありますので、入替戦もあるようで、激しい戦いがあるそうです。その1部リーグですので、プロ野球に負けず劣らず、とても素晴らしい試合を見てきました。特に前年度優勝の亜細亜大学は、全部員が五厘刈りで、スタンドにいる1年生も全て五厘刈りにして、素晴らしい統率力でした。皆さんも機会があれば、特に亜細亜大学の試合を見ていただければ、その凄さを感じられると思います。



◆幹事報告 紺野容樹 幹事

A. 来信

① 国際ロータリー日本事務局より「9月のロータリーレートのご案内」1ドル139円(現行133円)

② 2022-23年度地区大会のご案内

第1日目 11月12日(土)

会長・幹事会 13:30~

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 16:20~

「会津若松ワシントンホテル」

第2日目 11月13日(日)

本会議 9:00~

懇親会 17:00~

「喜多方プラザ文化センター」

B. メーキャップ報告

9/3

県北第二分区分会補佐会議

佐藤喜市郎、安齋忠作 各会員



【安達のり子様よりご挨拶】 私は5年前から旧堀切邸で復興支援として音楽祭をさせていただいております。今年も11月3日の文化の日に旧堀切邸で、今年は福島出身のフラメンコダンサーの賑やかなフラメンコと、郡山出身のオペラ歌手の方が来てくださいます。皆様どうぞお越しください。今年度は、親睦委員長ということで、全国のクラブをまわって、私が行ったところのクラブから東京に来ていただければと思っております。今、四谷クラブも会員がだいぶ減りまして、まずはクラブの中を楽しみましょうと思いき、今年は様々なことを考えております。歴史の長い、この飯坂ロータリークラブの方々に教えをいただきまして、頑張っていきたいと思っておりますので、今年もよろしくお願いたします。

◆スマイリングBOX 伊堂里佳 小委員長 【合計42s】

東京四谷RC 安達のり子様 5,000円 毎年飯坂音楽祭お助けいただき感謝いたします。昨年のお礼が今になりました。ニコニコさせていただきます。
佐藤喜市郎 会員 5s 四谷ロータリークラブの安達様をお迎えて 高倉会員のスピーチ楽しみにしています。
佐藤隆章 会員 5s 安達のり子様をお迎えて
吾妻一夫 会員 5s 高倉会員のスピーチ楽しみにしています。
大内 勝行 会員 5s ごぶさたのお詫び 石川会長ががんばって下さい。
生田目正志 会員 3s 高倉会員のスピーチの楽しみです。

紺野 容樹 会員 3 s 東京四谷RCより安達様をおむかえして 高倉会員のスピーチ楽しみにしてました。
 安斎 忠作 会員 3 s 高倉会員のスピーチ楽しみにしてます。 安達さんをお迎えして
 高倉 怜 会員 3 s 大変緊張しております。本日、よろしくお願ひ致します。
 千葉 政行 会員 2 s ・前回欠席おわび ・次回欠席おわび ・高倉会員のスピーチ楽しみにしてます。
 鈴木 牧子 会員 2 s 高倉会員のスピーチ楽しみにしてます。
 菅野 浩司 会員 1 s 高倉会員の新会員スピーチ楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

◆新会員スピーチ 高倉 怜 会員



皆様、こんにちは。皆様の貴重なお時間を頂戴いたします。今回は新会員のスピーチということで、私の生立ちからお話をさせていただいて、より私の事を知っていただければ、うれしいなと思っております。私、高倉怜33歳、郡山出身です。名前はシティーハンターの「冴羽獠」からきております。3歳上の兄貴とは喧嘩しながら仲良く成長し、小学校、中学校と野球をやっておりました。高校は日大東北、大学は日大の経済学部で東京に行きました。東京ではイタリアンレストランでアルバイトをして、その時にオーナーが料理を教えてくれて、妻が結婚するにあたって「あなたに私の胃袋は掴まれた」と言ってくれたくらい、私は料理が好きになりました。また、日経新聞でも働きました。そこで一年半ぐらいアルバイトをやって、新聞社員はこんなことをやるのだと興味を持ちました。それが大学3年生ぐらいで、私自身地元に戻りたいという思いと、漠然とマスコミに興味があっ

て、2010年6月に福島民報から内定をもらいました。翌年3月になって自分の部屋を引き払い、さあ帰るぞとなった3月11日の2時46分にあの大地震がありました。公衆電話に並んで、やっとこさ親父と電話をしたのを覚えています。福島民報に入社できるのかという不安もありましたが、結果的に4月1日から入社できるということで、本社広告局で働くことができました。営業の基礎的なところを教えてもらいながら、本社で3年経験して、その後、東京支社の営業部に行きました。東京支社の中ですごく思い出に残っている仕事は、出版社を担当しており、そこから広告の提案をしておりました。日々、新聞がある中で1面のところに、記事下三段というスペースがあるのですが、これは固定されている広告スペースで、それを日々どう埋めるのか、どういう広告で飾ろうかという仕事をしておりました。あれは三段という高さの中で、1社で入れる時は全三段、二社だったら半三段、八つに割る、八社に割るならサンヤツ広告という名前で、新聞社の中であるのですが、サンヤツ広告というのを特に思い入れを入れて作っておりました。新聞社の中で、この出版社は歴史があるとか、うまく並べていくのが「このサンヤツ広告美しいよね」という表現を地方紙ではありまして、私はそれを見ながらお酒も美味しく飲めます。それぐらいこだわりを持ちながら、サンヤツ広告などを集めておりました。東京支社に4年間おりました、その時に妻と出会いました。妻は宮城県の河北新報に勤めており、東京支社に異動になって、その時に出会いました。私としては見守るつもりで、仕事の相談を話し合ったり、飲んだりしていたのですが、お互い仲良くできそうだねっということで、お付き合いが始まりました。私は本社入社、東京4年、郡山2年、本社2年、今は飯坂に至っておりますが、地元郡山にも戻ることができて、その時に実家で親と一緒に過ごしておりました。郡山に2年間おり、本社の広告管理部に異動になり、そこでは朝刊デスクという仕事をしていて、新聞の設計図を作る、そういった部署におりました。そこで2年間、2020年から務めていたのですが、2020年に私としてはちょっと転機となるというか、大きいちょっと出来事がありまして、母の余命が告げられました。それが膵臓癌だったのですが、これについては音声でご説明できればと思うので、少しお時間をいただきます。(ラジオ放送) 福山雅治さんにラジオで私の投稿を読んでもらいました。うちの母は、結局余命が告げられて4ヶ月ぐらいで亡くなってしまったのですが、ありがたいことに、うちの妻は娘として母を送りたいと、去年の9月に入籍して10月に母を送ることができました。うちの母は介護系の仕事をしており、仕事を終えてからもボランティアで子供たちの面倒を見ていたり、きっと人のことが好きな人間だったのだらうと思います。私もそうありたいなと常々心掛けております。去年、無事に妻と結婚式を挙げられることができて、今は飯坂支局で妻と一緒に二人で頑張っております。

今日、私のスピーチの中でお話をしたいことは、まずは皆様の健康第一で、お酒の飲み過ぎはよくないと思います。もう一つは、飯坂を盛り上げるためには、いろいろと動いていきたいと思っておりますので、皆さんのお知恵をいただければと思います。最後に、健康第一と言いましたが、また早く皆さんと飲みに行きたいと思っております。その機会を楽しみにしておりますので、よろしくお願ひいたします。おかげ様で、福島民報は今年130周年を迎えました。今月24日25日の二日間、郡山市のビックパレットを会場にSDGS博を展開してまいります。今、世界的に国連を中心に取り組んでいることであります。何がSDGSかは、なかなか難しいところであると思うのですが、何かのために、人のために、未来のために、それにつながる良い事が、私どもはSDGSだと思います。まさにロータリーの活動もSDGSだと思います。個人個人が取り組んでいくことが、今求められていることだと思います。皆様、SDGS博にお越しいただければと思います。よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

【千葉政行会員卓話】私も縁があって聖光学院の学校評議をやらせていただく関係で、13連覇のうち十年ぐらい、第1試合目は甲子園に応援に行きます。今年のチームがあれほどまでに、打てて守れるようになったのは、キャプテンである赤堀君のおかげなのです。彼は京都出身で「聖光学院こそが高校野球の原点だ、日本一を目指す」と言って、聖光学院の門を叩いたそうです。9月9日から野球の世界大会がありますが、聖光学院から2名の選手が選ばれました。聖光学院の野球が、全国の方々の感動を生むような試合をしてくれたことだと思います。毎年なぜ甲子園に行けるのか、それは、AからCまでのチームがあって、Cチームはコーチ陣、Bチームは横山部長、Aチームが斎藤智也監督と、卒業したら次のチームが出来上がっているのです。甲子園の前の東北大会も、聖光学院の横山部長が東北六県の高校に声をかけて作ってきたのです。東北のレベルを上げるためにどうするのかと考えているのが横山部長なのです。素晴らしい指導者です。高校野球は、まだまだ面白くなっていくのだらうと思います。聖光学院は特に地元の高校ですので、みんなで応援していただければと思います。私は福島商業も学法福島も応援しているのです。いわき、白河、会津、郡山から順番に高校野球、甲子園に行ってくれるのを期待しております。これからもユナイテッド同様、高校野球もお願ひいたします。